

「いらっしゃい」病室訪問で患者さんの笑顔

今年度3回目となったJAHAの”アニマルセラピー“が、3月12日(水)午後2時から、病棟各階と緩和を巡回しました。今回は個別訪問を希望する患者さんが多く、

わずかなふれあいの時

間で抱っこしたり
頭を撫でたりで
温もりを実感。

自宅で待ってい

るワンちゃんの話や、かつて飼っていたペットの思い出話を

したりと、入院生活からワープし

たかのように笑顔がこぼれました。前

回初参加だったグレート・ピレニーズのシェリーちゃん(写真右下)

とオーストラリアン・ラブラドゥードゥルのファンちゃん(左下)、

訪問のベテランとなったミニチュアダックスのサンちゃん(左上)

とこむぎちゃん(右上)、シーズーのケンタくん(右中)がセラピ

ー犬として来院してくれました。5頭のワンちゃんたちは活動のため

の訓練を受けており、訪問前には口内細菌の検査やシャンプーを

して患者さんと対面しています。ベッドサイドではタオルを敷いて、抱っこや握手をするように、飼い主さんが工夫してくださいます。ロビーに集まった患者さんは初め遠巻きに見ている方も多く、お手伝いに入った大学生のボランティアグループ“カラーカラース”

が、ワンちゃん

たちに触ってもら

うように声掛けをすると、遠慮がちに近づいて来られました。

「シロクマみたいだね」「きょう会えると思って

楽しみにしてたよ」「触れないけど、写真だけ撮っておくわね」。

ワンちゃんたちも患者さんの熱烈歓迎にしっかり応えてくれ、あっという間の1時間の活動が終了しました。

シェリーちゃんはひと仕事終え、ホットした表情を見せていました。みなさん、お疲れさまでした。

